



登録番号	第 22650 号
性 状	類白色発煙性円柱状 径 2.1 ～ 2.5 mm, 長さ 2 ～ 20 mm
有効期限	4 年
毒 性	医薬用外劇物
包 装	(20g × 10 缶) × 6 箱、(48g × 10 缶) × 6 箱、 (200g × 10 缶) × 4 箱

有効成分 ビフェントリン 5.0%

種 類 名 ビフェントリンくん煙剤

殺虫剤分類 3A

■特 長

1. ハダニ類、アブラムシ類に高い効果を示します。
2. 速効性に優れ、くん煙直後から強い殺虫力を示します。
3. くん煙剤なのでハウス内の湿度を高めず、作物の汚れも少なく省力防除ができます。
4. 貯蔵倉庫内の米、小麦を加害する各種害虫の防除が可能です。



製品ページはこちら

■適用害虫名及び使用方法

(2025 年 10 月 1 日現在)

作物名	適用場所	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	ビフェントリンを含む農薬の総使用回数	使用方法
ぶどう	温室、ビニールハウス等密閉できる場所	ハダニ類	くん煙処理室の容積400m ³ (床面積200m ² ×高さ2m)当り48g	収穫前日まで	1回	2回以内 (散布は1回以内、くん煙は1回以内)	くん煙
きゅうり					3回以内	3回以内	
すいか		アブラムシ類			4回以内	4回以内	
メロン							
なす		ハダニ類			2回以内	2回以内	
いちご		ハスモンヨトウ		発生初期	3回以内	3回以内	
花き類・観葉植物		ハダニ類					
米 小麦	貯穀倉庫	ノシメダガラメイガ ヒラタコクヌストモドキ コクゾウムシ	くん煙処理室の容積100m ³ 当り 12g～24g	保管中			
葉たばこ	葉たばこ倉庫	タバコシバンムシ チャマダラメイガ	くん煙処理室の容積100m ³ 当り 12.5g～25g	—	—	—	

⚠ 効果・薬害などの注意

1. くん煙処理しようとする室の容積によって使用量を決め、必要に応じてくん煙箇所を数箇所に分けて配置し、煙が満ち足りていくようにしてください。
2. 貯穀倉庫で保管中の米及び小麦にくん煙する場合、煙が直接かかるおそれのない材質や性状の包装・容器に入れ、密封した状態で使用してください。
3. くん煙に当たっては、室の戸や窓を閉め、室内の可燃物を取り除いた床上で、本剤をバケツ(金属)の中や不燃性の台などの上に置き点火してください。点火後、発煙を確認したら速やかに退室し、室を密閉して、そのまま放置してください。
4. 日中のくん煙はさけ、夕方からくん煙し、翌朝開放してください。
5. 定植直後または幼苗、軟弱徒長苗には使用しないでください。
6. カラー及び花はすに使用する場合は、湛水状態で使用しないでください。また、使用後 14 日間は入水しないでください。
7. 室外で強い風が吹いている日は、煙が片寄ってしまい、均一な効果がでにくいので使用しないでください。

8. 温室、ビニールハウス等密閉できる場所で使用する場合、高温時のくん煙は薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
9. 蚕に対して長期間毒性があるので、くん煙する施設に桑園が隣接する等、桑に付着するおそれがある場所では使用をさけてください。
10. くん煙処理後の室内で作業した際に着用した衣服は、養蚕作業に用いるものと区別してください。
11. ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - (1) 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設等では使用をさけてください。
 - (2) くん煙する施設内や周辺に巣箱がある場合は、巣箱を移動するなど直接ミツバチの巣箱に煙が暴露しないようにしてください。
 - (3) 移動した巣箱は、少なくとも処理後3日間は室内に戻さないでください。
12. 室内に小鳥などを置いている場合は、くん煙前に他の場所に移動しておいてください。
13. 葉たばこ倉庫で使用する場合は、対象害虫の成虫飛来消長を調査しながら、投薬すると効果的です。
14. 空袋、空缶は、圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。
15. 適用作物群に属する作物又はその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
16. 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

安全使用上の注意

17. 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
18. 点火等の作業の際は、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
19. かぶれやすい体質の人は、取扱いに十分注意してください。
20. くん煙中は倉庫へ入らないでください。また、くん煙終了後は倉庫を開放し、十分換気した後に入室してください。

● 治療法

本剤による中毒の治療法としては、動物実験で筋弛緩薬(メトカルバモール製剤等)の投与が有効であると報告されています。

● 水産動植物への影響

水産動植物(魚類、甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、施設内に水産動植物を飼っている水槽などを置かないでください。

● 保管上の注意

密封し、火気や直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼・乾燥した所に保管してください。カギをかけてください。盗難・紛失の際は、警察に届け出てください。

-
- 使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には、使用しないでください。
 - 小児の手の届く所には、置かないでください。●空容器・空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。
-